



季刊



↑最新情報は  
市HPから

# KIDS お城ニュース

第13号

令和5年7月発行

お問合せ先

島原城築城400年記念事業実行委員会

(島原市しまばら観光課内)

0957-63-1111 (内線216)



「島原城おさらい展」で展示予定！

『島原大変大地图』(肥前島原松平文庫所蔵)

## 注目情報！

島原城築城400年記念特別展  
「島原城おさらい展」を開催！



- 期間 8月1日(火)~10月9日(月・祝)
- 場所 島原城観光復興記念館



今年度も開催！  
「島原みらいキャンパス」

- 開催日 7/8、7/15、7/29、8/5
- 内容 島原の歴史や城についての講演



市民文化講座も築城400年協賛！

- 7/30 これからの日米  
親善人形交流

- 8/19 絵図が語る浜城の景観

いよいよ 2024年(令和6)は島原  
城築城400年。今年の夏は、島  
原城や島原の歴史を学ぶ講座やイ  
ベントがたくさん開催されます。  
島原城は、「島原・天草一揆」  
で合戦を経験し、「島原大変」で  
火山災害を乗り越えた全国的にも  
珍しい城です。実は、とても「す  
ごい」島原城。夏休みの自由研  
究にもぴったりです。

# しまばらじょう まも じょうかまち 島原城を守る城下町

島原城周辺の地図を見ると、古い町並みが残る「武家屋敷通り」が城の西側に、伝統的な建物が残る「森岳商店街」が城の東側に広がっています。また、島原城の周りの道は、東西方向に延びる道と南北方向に延びる道が交わり、網目のようになっています。このような現在にも繋がる町の様子は、松倉重政が島原城の築城と同時に計画し、城下町として整備したものです。

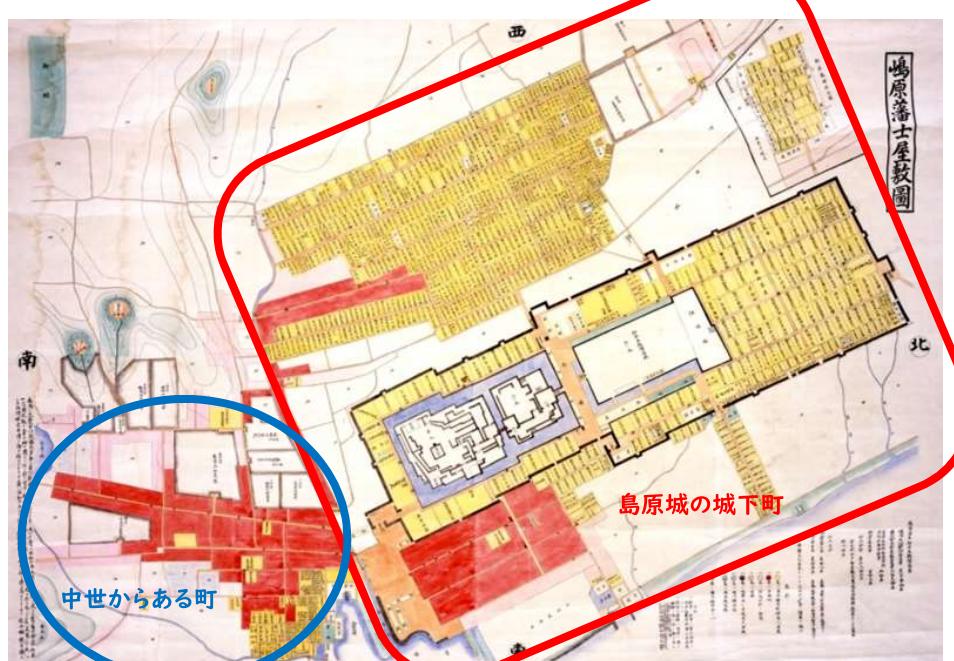
城は、戦いの際の拠点や政治の中心として、守らなければならない場所です。そのため、城の周りに広がる城下町も、城を守るために防御施設となっているのです。

島原城においては、陸路からの侵入が予想される北側にぬかるんで足場が悪い水田地帯を残し、西側は侍屋敷、東側は高い城石垣の前に町家を配置し、城を守っています。城の南側からの侵入に対しては、大手川が、堀のような役割を果たしています。

なお、大手川の南側と北側では南北に延びる道のラインが少し異なっています。これは、大手川から南側が、中世の「浜城」に付属した城下町であったためです。

城を守るために工夫は、今でも、町の中にひっそりと残っています。町を歩いてみたり、地図を見たりして、松倉重政が考えた城下町の秘密を探してみてください。

『島原藩士屋敷図』（肥前島原松平文庫所蔵）→



※絵図の色は、赤は町家、黄は侍屋敷、黒は石垣、青は堀・川などを示している。

## 8月26日 ぜんこくじょうかまち 全国城下町シンポジウム島原大会



島原青年会議所の主管で、全国の青年会議所メンバーが集まり、開催されます。下記のように市民も参加できるイベントもありますので、みんなで参加して、大会を盛り上げましょう！



★他にも、フォーラム（講演等）に参加可能ですが。詳細は、大会HPへ

- 物産展 10時～17時 島原文化会館
- 島原城～宴join～フェス 11時～19時 島原城
- 和ろうそく絵付け体験、ドローン体験ゲーム、火山噴火実験・ストーンペインティング 11時～14時45分 森岳公民館